

2025 年度聖学院大学大学院

心理福祉学研究科
春期入学試験問題

[心理福祉学研究科]
修士課程

社会福祉学/心理学論述試験
(60分)

<注意事項>

- ① 監督者の指示があるまで、この問題用紙を開かないで下さい。
- ② 監督者の指示により、解答を止めて下さい。
- ③ 試験終了後、問題用紙と解答用紙を回収します。
- ④ 机の上には、受験票・筆記用具のみを置いて下さい。
- ⑤ 質問等がある場合は、静かに挙手して監督者を待って下さい。

受験 番号		氏 名	
----------	--	-----	--

同封の小論文テーマから社会福祉学と心理学いずれかの分野を選択して論じなさい。

・社会福祉学の問題は1問選択し解答用紙に1200字以内で論じなさい。

なお、解答用紙に選択した問題番号を記入しなさい。

(例： [社会福祉学] 番号 [①])

・心理学の問題はすべての設問について論じなさい。

【社会福祉学】

★以下の用語の中から1つを選び、説明しなさい。

- ① 自助グループ
- ② 児童養護施設
- ③ グループホーム

聖学院大学大学院 心理福祉学研究科

入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名
2025 春期 (24 年度実施)	MSSW-026	心理福祉学研究科修士課程専門科目 ・心理福祉学コース 社会福祉学

・入試問題解答例等記入欄

【設問】

★ 以下の用語の中から 1 つを選び、説明しなさい。

- ① 自助グループ
- ② 児童養護施設
- ③ グループホーム

【出題意図】（論述式）

社会福祉学の領域をこれまで学び、大学院でさらに研究を深めようとしている受験生であれば、自分自身の専門領域がどのようなものであっても、3 つ挙げた用語の中から 1 つに関しては、基本的な知識として十分に論述が展開できる用語を設定した。

論述内容から、基本的な事項についての正確な知識と自分なりの考察に関して評価することを意図した。

【解答例】（論述式）

①自助グループ

採点にあたってのポイントは、セルフヘルプグループに関して、この援助方法の発祥、その構成要件と現代でのバリエーション、援助効果と運営上の留意点について言及されているかについて勘案した。

②児童養護施設

採点にあたってのポイントは、児童養護施設の対象者と機能、職員構成など基本的な事項が正確に記載されているか、歴史的な経緯、近年の小規模化の動きに関する背景について言及されているか、子どもの視点に立った考察がなされているかについて勘案した。

③グループホーム

採点にあたってのポイントは、社会福祉の多様な領域においてグループホームの実践

が展開されていること、共通した形態と援助効果、グループホーム設置の広がり背景について言及されているか、具体的な援助方法に関して利用者の視点にたった考察がなされているかについて勘案した。

【心理福祉学心理学・公認心理師】

1. テストバッテリーの目的や、テストバッテリーを組む上での留意点について説明しなさい。

2. 次の事柄について説明しなさい。
 - ① レジリエンス
 - ② メタ分析
 - ③ 回想法

聖学院大学大学院 心理福祉学研究科修士課程
入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名 担当者
2025 春期 (24 年度実施)	MSPL-002	心理福祉学研究科修士課程専門科目 ・心理福祉学コース 心理学 ・公認心理師コース 心理学

・入試問題解答例

【設問】

1. テストバッテリーの目的や、テストバッテリーを組む上での留意点について説明しなさい。
2. 次の事柄について説明しなさい。
 - ① レジリエンス
 - ② メタ分析
 - ③ 回想法

【出題意図】（論述式）

公認心理師養成課程において心理学に関する研究や実践を遂行するにあたり、必要となる知識の有無を確認するために、基本的な用語を説明できる力を確認することを意図している。

【採点時の評価のポイント】（論述式）

1. テストバッテリーの目的について、心理アセスメントにおける役割や意義を明確に説明しているかを評価した。加えて、テストバッテリーを組む際の留意点として、対象者の特性や倫理的配慮、検査間の相互関係や結果の解釈などにバランスよく言及しているかを確認した。
2.
 - ① レジリエンスの概念について、定義を正確に示し、心理学的背景やストレス対処との関連に言及しているかを評価した。加えて、レジリエンスを高める要因や臨床的意義についてバランスよく説明できているかを確認した。

②メタ分析の基本的な考え方について、目的や特徴を明確に説明し、統計的手法や効果量の概念に触れているかを評価した。さらに、心理学研究における意義や利点・限界について論理的に整理できているかを確認した。

③回想法の定義を示し、その目的や心理的効果に言及しているかを評価した。加えて、高齢者支援や臨床場面での活用方法、実施上の留意点についてバランスよく説明できているかを確認した。